

## 《 胃管内視鏡(胃カメラ)検査のご説明 》

目的	鼻から内視鏡を挿入し、食道・胃・十二指腸を直接観察し病気の有無を調べます。
方法	当施設では苦痛が少ない鼻からの内視鏡を第一選択としています。鼻からの挿入の場合、内視鏡が舌の付け根に触れず、嘔吐反射が起きにくい検査方法です。鎮静剤（全身麻酔）を使用しなくても比較的苦痛なく検査を受けることができます。（個人差あり） 鼻腔が細いなど、内視鏡が通りづらい方は口からの挿入となります。 ・ 胃の内部を見やすくするお薬を飲み、鼻やのどに麻酔をします。 * 鎮静剤（全身麻酔）は使用しません。局所麻酔のみの使用となります。 ・ 検査時間は5分前後です。必要時、病変を採取して組織検査を行います。 * 組織検査を実施した場合、別途14,696円のお支払いが発生いたします。
副作用 ・ 偶発症	① 内視鏡の挿入による出血 内視鏡で粘膜をこすするため、鼻やのどが傷付き出血することがあります。 また、検査中ごく稀に消化管壁に損傷を起こし、出血や胃壁に穴が開くことがあります。 ② 組織検査後の出血 組織検査をした場合、少量の出血を伴います。 通常は自然に止血しますが、帰宅後に黒色便が続くときはご連絡下さい。 * 血液をサラサラにする薬（抗凝固薬：ワーファリン・パナルジン・バファリンなど）を服用している方は、組織検査を行えません。 ③ 麻酔（キシロカイン）によるアレルギー 薬疹、嘔気、稀にショックなど。 * 過去に麻酔薬の使用によりアレルギー症状を起こした方は、当施設での胃管内視鏡検査は原則行えません。ただし、他施設にて鎮静剤及び麻酔薬無しで検査を受けられた方のみ実施可能となります。  ※ 万一予期せぬ偶発症が起きた場合には、念のため入院設備のある医療機関に移っていただくことがあります。
※当日の健康状態によっては、医師の判断により胃管内視鏡検査をお断りさせていただく場合があります。予め、ご了承下さい。	

## 《 胃部内視鏡検査 注意事項 》

前日と当日の注意点	① 検査前日の夕食は、22:00 迄に済ませて下さい。消化の良いものを食べ、アルコール類は控えて下さい。（飲水は翌日起床時まで可）
	② 検査当日の朝は <b>禁食</b> です。起床時に限っては、コップ1杯（200ml）程度のお水は飲んで頂いてかまいません。それ以降は <b>禁飲食</b> となります。
	③ 治療中のご病気がある方は、朝の内服は控えて下さい。ただし、 <b>血圧の薬（降圧剤）</b> を飲まれている方は起床時に内服してから来所して下さい。
	④ 喫煙されている方は、検査当日はお控え下さい。検査に影響が出ることがあります。
	⑤ 検査の妨げになるため、ネックレス・イヤリング・義歯・眼鏡・体を締め付ける下着などは検査前に外していただきます。口紅を塗っている方は、事前に拭き取って下さい。
その他	① <b>ご都合が悪くなった場合や、体調不良のため検査を受けられなくなった方は、お早めに下記までご連絡下さい。</b>
	② 受診票同封の同意書をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご署名をお願い致します。検査当日、同意書と問診票を受付へ提出して下さい。
	③ 受診票に記載されている時間に受付へお越し下さい。
	④ お呼びする順番は、他の検査との進行状況により当日決定させていただきます。お待ちいただく場合がありますので、ご了承下さい。
	⑤ <b>当日、必要に応じて生検組織検査を行うことがあります。その際は、別途14,696円のお支払いが発生いたします。</b>